

E 研究コース群（関西）

概要

このコース群は、一流の専門家を講師とし、争訟、審判決例、明細書の書き方を受講生自ら課題に取り組む講義形式で行われます。Eコースは最高水準のコースで、Cコース群(中級)修了者またはそれに準ずる実力を有する方が、より高度な実力を養成するのに最適です。

尚、本コース群では、グループに分かれて演習を行います。

E1 受講者の声

知財経験が数年の私でも、他社の知財部員の方々と意見交換することが出来ました。
受講前よりも判例について自分の意見を持てるようになり、自信をつけることが出来たと思います。

E1 受講者の声

開発部門や特許事務所で経験のある方、技術分野が異なる知財のベテランの方、弁理士資格をお持ちの方など色々な分野の方が、経験や立場に基づいて意見を出してくださったので、大変参考になり勉強になりました。

E1 受講者の声

事前に受講生が相談して判例を選び、論点抽出・グループメンバーでの意見交換を経てから研修会に臨むため、研修準備と業務との両立では正直苦労した時期もありましたが、その分、毎回の研修がとても有意義でした。

ご参考

◆下記コースを新設しました。

E05「英文契約における交渉とドラフティング」

英文契約を取り纏める実践力が身につきます！

E01

特・実判決例の研究
(討論形式)

初回開催日の
2週間前まで申込可能です。
お申込みはこちらから！

※日本弁理士会継続研修対象コース

概要

このコースは、特許・実用新案に関連する実務経験者が、さらに高度な専門知識、および最近の判決動向に対応する考え方を習得することを目的とします。

このコースの受講者は、いくつかのチームに分れ、特許・実用新案に関する審決取消訴訟または侵害訴訟など最近の判決例をチーム毎に自ら選定し、自主的に調査・研究を行いながらその判決における争点、問題点など法的解釈の論点を整理し、当事者の取るべき論法等を自主研修の中で導き出す全員参加型研究コースです。自主研修当日は一つのチームが議長団となり、他のチームが原告と被告を担当し、それぞれの立場で活発な論争を展開します。自主研修の後、講師による講評、判例解説および質疑応答を受けていただきます。従って、前記日程の他にチーム毎の事前検討を行う必要があります。

開催日(9日間)		講義科目	講師
6/12(火)	午前	ガイダンス	岩坪総合法律事務所 弁護士 岩坪 哲 氏
	午後	オリエンテーション、テーマ選定	————
7/20(金)	午前	自主研修(Aチーム担当:A1テーマ)	————
	午後	(Bチーム担当:B1テーマ)	————
8/21(火)	午前	A1講評	弁護士法人関西法律特許事務所 弁護士 井上 裕史 氏
	午後	B1講評	アス力法律事務所 弁護士 岩谷 敏昭 氏
9/13(木)	午前	自主研修(Cチーム担当:C1テーマ)	————
	午後	(Dチーム担当:D1テーマ)	————
10/9(火)	午前	C1講評	小池総合法律事務所 弁護士 小池 眞一 氏
	午後	D1講評	岩坪総合法律事務所 弁護士 岩坪 哲 氏
11/1(木)	午前	自主研修(Aチーム担当:A2テーマ)	————
	午後	(Bチーム担当:B2テーマ)	————
12/12(水)	午前	A2講評	アス力法律事務所 弁護士 岩谷 敏昭 氏
	午後	B2講評	弁護士法人関西法律特許事務所 弁護士 井上 裕史 氏
1/17(木)	午前	自主研修(Cチーム担当:C2テーマ)	————
	午後	(Dチーム担当:D2テーマ)	————
2/12(火)	午前	C2講評	岩坪総合法律事務所 弁護士 岩坪 哲 氏
	午後	D2講評	小池総合法律事務所 弁護士 小池 眞一 氏

申込コード: E01-K1

関西	研修会場:協会 関西事務所	募集定員:32名
E05	英文契約における交渉と ドラフティング	<div style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 0 auto;"> 新設 </div> <div style="border: 1px solid #0056b3; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 5px; text-align: center; font-size: 10pt;"> 初回開催日の 2週間前まで申込可能です。 お申込みはこちらから！ </div>

※日本弁理士会継続研修対象コース

概要

近年、ビジネスのグローバル化により国際企業間の提携が増加する傾向にあります。このような国際提携には契約締結が付きものであり、これに携わる実務者にとって、契約書ドラフティングに関する実務スキルを高めることや、相手企業との契約交渉が、ますます重要になってきています。

本研修は、①英文契約書のドラフティング実務に活かせる知識と実務スキルを習得して頂く事、②契約交渉の実践的なポイントを習得して頂く事、を目的とするもので、「ライセンス契約」を中心に「秘密保持契約」「共同研究開発契約」なども取り上げていきます。①契約ドラフティングでは、契約書の類型や実務ポイントの解説に加え、演習を通じて条文の意義、構成、ドラフティングのキーポイントを解説します。②契約交渉では、交渉の進め方の座学の後、具体的な模擬交渉を行い、実践ポイントを解説します。

本研修により、国内契約にも通ずる知識を学ぶことができますので、国内外の契約に直接または間接的に携わっておられる方々にお薦めいたします。

開催日(4日間)		講義科目	講師
6/19(火)	午前	ガイダンス 英文秘密保持契約のドラフティング	弁護士法人 イノベンティア 弁護士 飯島 歩 氏 生沼国際法律特許事務所 弁護士 生沼 寿彦 氏
	午後	英文秘密保持契約のドラフティング	
9/11(火)	午前	英文ライセンス契約のドラフティング	
	午後	英文ライセンス契約のドラフティング	
12/4(火)	午前	英文共同研究開発契約のドラフティング	
	午後	英文共同研究開発契約のドラフティング	
2/14(木)	午前	ライセンス契約交渉の実践ポイント	
	午後	ライセンス契約交渉の実践ポイント	

申込コード：E05-K1

1～3回目は、全体ガイダンスに続き、秘密保持契約、契約ライセンス契約、共同研究開発、のそれぞれの契約について、それぞれの契約における、背景、契約書の類型及び実務ポイントなどの講師による解説の後、個人演習(ドラフト完成)、グループ演習(問題条文の確認と修正等)と講師による解説等があります。最終の4回目は、契約の中でも特にライセンス契約を題材に、契約交渉の進め方や交渉ポイントの説明などの講義の後、具体的な事例を用いたグループによる模擬交渉を行って頂き、最後に講師からの講評と解説を頂きます。

関西	
E08	英文明細書の書き方 (討論および演習形式)

本コースは隔年開催のため、2018年度の講義は休講とし、2019年度に開催する予定です。